

平成27年度 第5次上尾市総合計画 施策マネジメントシート

1. 基本情報 ●農政課・商工課・農業委員会事務局

施策番号(大-中-小)	511
まちづくりの基本方向(大項目)	たくましい都市活気づくり
政策(中項目)	地域産業の活性化
施策(小項目)	農業
基本方針	農業を地域の産業として健全に守り育てるため、農地の保全や農業基盤施設の整備を図るとともに、農業経営の安定・強化への支援を行います。また、担い手の育成、生産団体の支援等により、魅力ある将来性の高い農業への道筋を作っていきます。安心・安全な農作物の提供、地産地消の拡大への支援とともに、地域ブランド確立、農業体験を通じた市民交流を促進します。

2. 施策の状況(平成27年3月31日現在の状況を記入)

施策の現況と課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業は、新鮮で安全な農産物を安定的に供給するとともに、農地による緑豊かな田園風景の提供、農業体験・交流・触れ合いの場の創出、地域文化の継承など多面的な役割を果たしています。 ● 急激な都市化による農地面積の減少、遊休農地の増加が著しく、農地の他の用途への転用も進んでいます。農地の保全、農業基盤の整備維持管理を適正に行うことが重要です。 ● 地域農業活性化のため、大消費地を至近に持つ地域特性、生産者と消費者との密着性を活かした都市農業の推進が求められています。また、食の安心・安全への関心が高まる中、農業への理解が深まるよう、農業との触れ合いや食育等、農業と市民の交流促進、農業啓発に努める必要があります。 ● 農業者の高齢化、農産物価格の低迷から生じる新規就農者不足などにより、農業後継者の人材確保が課題です。今後も多様な担い手の育成や農業経営者の組織化等について、農業関連団体等と協力しながら推進する必要があります。 ● 産業振興の観点から、農商連携(市内の農業者と飲食店などが連携)に向けた調整を行うことにより、農産物の新たな販路開拓と販売促進を図るとともに、商業の活性化やまちなかのにぎわいにつながるような取り組みを行う必要があります。 ● 学識経験者や市内事業者、金融機関、産業支援機関、行政(国・県・市)、市民団体の代表者などで構成される「上尾市産業振興会議」では、「上尾市産業振興ビジョン」の実現のため、時代の流れに沿った産業振興の方向性について検討するとともに、具体的な取り組みについて提言を行っています。この提言に基づき、毎年度、取り組みを進めています。
法制度の変更など	

3. 目標指標の達成状況 ★冊子掲載指標

No.	課名	指標名	指標の説明(計算式)	対象数	実績						目標値	達成率	主な取組内容やコメントなど
					年度	H22	H23	H24	H25	H26			
1★	農政課	認定農業者数	(累計)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	80%	農業経営基盤強化促進法に基づく農業経営改善計画の市町村の認定を受けた農業経営者・農業生産法人のこと
					単位	戸	35	32	30	32	32		
2★	農政課	利用権設定面積(農地)	(累計)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	72%	農地を貸したい農家と農業経営規模の拡大を図りたい農業者との間で、農地の有効利用のため農地の貸借などの権利を設定した土地のこと
					単位	ha	58	58	57	54	59		
3	商工課	グルメ祭り上位入賞者の商品化への取り組み数	(単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	33%	平成23年度よりあげお産業祭において『キラリ☆あげお当地グルメ祭り』を実施
					単位	商品	—	0	0	1	1		
4	農業委員会事務局	農地パトロールに伴う耕作放棄地の解消面積	(単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	593%	平成24年度までは、指導による耕作放棄地解消面積としていたが、当該年度からそれ以外に通知、利用計画、勧告によるものも含めた数字としている。
					単位	m ²	6,011	4,695	2,188	29,668	24,714		
5					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
6					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
7					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
8					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
9					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
10					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								

4. 今後の方針(平成27年度実施予定を踏まえた28年度の方向性)

<p>今後の取組の方向性</p> <p>(文末に*のあるものは、市長マニフェスト該当項目)</p>	<p>(農政課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定農業者は、自らの農業経営の拡大志向の農家で、農業経営改善計画書を提出し、上尾市の定める基本構想と合致した経営計画を示した農業者を上尾市地域農業再生協議会が認定しています。 現状では認定農業者も高齢化が進んでいますが、地域農業をけん引する地域で中心となる経営体として重要な位置を占めています。 農地は農地法の制約があるため農業者以外の耕作に制限がありますが、農地所有者が高齢化、後継者もいないことなどで、所有する農地を自ら耕作できない状況が生じ、放棄地拡大が加速化しています。 農業経営基盤強化促進法に基づいて利用権を設定し、自ら耕作できない農地を、経営規模拡大志向の農業者にあつせんし、農地を流動化させて有効利用を進めています。 平成26年度からは、国の施策として農地中間管理機構が創設され、農地の中間管理権を設定して、農地の流動化を進める新たな仕組みが始まり、耕作放棄地解消に向けた今後の取り組み動向が注目されます。 (商工課) 上尾ブランドの確立を目指し、観光協会推奨土産品のPR、上尾産の農産物や製品などを使用した「キラリ☆あげお当地グルメ祭り」上位グルメの普及啓発及び商品化への取り組みを支援します。 (「キラリ☆あげお当地グルメ祭り」の上位入賞グルメへの支援として、「上尾串ぎょうざ」をご当地グルメとして普及啓発する方向性が確立した。今後、「キラリ☆あげお当地グルメ祭り」実行委員会としては、ご当地グルメの育成とイベント上位者のPRの2つの方向性で取り組んでいきたいと考えている。 具体的には、「上尾串ぎょうざ」を広く一般に周知し、複数店舗での販売に向けた取り組みを引き続き進めるとともに、イベントの上位グルメをPRすることで、自主的な商品化を促し、当該グルメを目的とした広く市内外からの誘客につなげたい。) (農業委員会事務局) 引き続き農地パトロールを実施し、耕作放棄地の所有者に対して指導を行います。 	<p>★進ちよく状況</p>	<p>B 概ね順調</p>
---	--	----------------	---------------

5. 市民満足度アンケート(平成25年度実施)

期待度		満足度		かい離値	
指数	順位	指数	順位	指数	順位
2.16	28	1.27	17	0.89	16

※かい離値は、期待度ー満足度を表します。

※参考

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
この施策に係る当初予算の事業費(千円)	45,335	45,875	49,082	52,833
この施策に係る当初予算の人件費(千円)	126,559	120,654	118,296	129,442
合計(千円)	171,894	166,529	167,378	182,275

★進ちよく状況

- A 順調(すべての指標が改善または目標値達成)
- B 概ね順調(改善または目標値達成した指標が半数以上)
- C やや遅れ(改善または目標値達成した指標が半数未満)

平成27年度 第5次上尾市総合計画 施策マネジメントシート

1. 基本情報 ●広報広聴課・農政課・商工課

施策番号(大-中-小)	512
まちづくりの基本方向(大項目)	たくましい都市活力づくり
政策(中項目)	地域産業の活性化
施策(小項目)	商業
基本方針	市民生活に直結する商業は、商業者への情報提供や相談体制強化等により経営の改善・安定化・近代化を促進するとともに、次世代を担うリーダーや後継者の育成を支援します。また、商店街の環境整備や大型店と個店の連携を進めるとともに、中心市街地については様々な角度からの活性化を検討します。

2. 施策の状況(平成27年3月31日現在の状況を記入)

<p>施策の現況と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本市の商店数(卸・小売業)は、個店の廃業等により減少傾向にあります。大型店の出店によって従業員数及び店舗面積は増加している状況です。商店・商店街の来店客数や売上は減少傾向にあるほか、後継者不足や新規出店者の不足などにより、空き店舗の増加や商店街活動の低迷などにつながるなど、商店・商店街を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあります。 ● 経済変動の激しい中、魅力ある商店・商店街を育成し地域経済の活性化を図るために、商工会議所などと協力しながら、商業、工業連携や企業と地域社会の結び付きを強める必要があります。 ● 駅周辺の中心部のほか郊外部の商店街も含めて、高齢者や障害者、子ども連れの親など、誰もが安全で快適に、安心して買い物ができる地域ニーズに見合った魅力ある商業環境の整備や商店街の活性化が課題です。 ● 上尾駅周辺の中心市街地では、平成25年度からJR上尾駅を中心とした東西ショッピングエリアや地域商店街が一体となって、中心市街地活性化のイベントを行っています。今後も引き続き、イベントへの集客を図るとともに、日常的なまちなかのぎわいを創出するため、民間活力の活用により、総合的に推進することが重要です。 ● 学識経験者や市内事業者、金融機関、産業支援機関、行政(国・県・市)、市民団体の代表者などで構成される「上尾市産業振興会議」では、「上尾市産業振興ビジョン」の実現のため、時代の流れに沿った産業振興の方向性について検討するとともに、具体的な取り組みについて提言を行っています。この提言に基づき、毎年度、取り組みを進めています。 	
<p>法制度の変更など</p>	

※参考

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
この施策に係る当初予算の事業費(千円)	87,447	96,246	100,717	83,095
この施策に係る当初予算の人員費(千円)	18,193	17,529	20,835	24,376
合計(千円)	105,640	113,775	121,552	107,471

3. 目標指標の達成状況 ★冊子掲載指標

課名	指標名	指標の説明(計算式)	対象数	実績						目標値	達成率	主な取組内容やコメントなど
				年度	H22	H23	H24	H25	H26			
★ 商工課	年間商品販売額	(単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	—	出典：商業統計調査・経済センサス数年ごとに調査されているが、最新結果(H26年実施)の市町村レベルの確報値公表は、H27年11月の予定。
				単位	億円	5,546	—	5,658	—	—		
農政課	あげお朝市(JR上尾駅自由通路で開催)	(市役所ピロティ及び)JR上尾駅自由通路での年間来客数(単年)	出店のべ数35店(H25年度)	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	97%	平成26年度は、JR上尾駅自由通路で6回開催。 ※単位を「金額」ではなく「人数」に変更。
				単位	人	1,194	2,236	2,867	3,388	3,409		
商工課	商店街活力再生推進事業実施数	(単年)	商店街数34(H25年度)	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	70%	商店街活力再生推進事業とは、商店街の活性化に資するイベントや宣伝に関する事業に対し、予算の範囲内で補助する。
				単位	件	9	8	8	7	7		
4				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
				単位								
5				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
				単位								
6				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
				単位								
7				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
				単位								
8				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
				単位								
9				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
				単位								
10				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
				単位								

4. 今後の方針(平成27年度実施予定を踏まえた28年度の方向性)

<p>今後の取組の方向性</p> <p>(文末に*のあるものは、市長マニフェスト該当項目)</p>	<p>(農政課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年春から秋にかけて、上尾産の旬の農産物を「あげお朝市」で対面販売し、市民に地域の農産物を提供している。 ・集客力のあるJR上尾駅自由通路で開催することで、上尾産農産物のPRに繋がりと、地産地消の推進とともに、上尾駅のぎわい創出にも効果を発揮している。 ・農事組合法人上尾市農産物直売組合を中心に来店していたが、花卉や切りバラ、ジェラードなど品目を増やし、品ぞろえに幅を持たせるなどの工夫を進めていく。 <p>(商工課)</p> <p>(1)「上尾市産業振興ビジョン」の実現に向け、以下の取り組みを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興推進事業(「(仮)産業振興会議」を設置し、市内産業振興の方針について検討・提言を行います。) ・農商工親ポータルサイト構築事業(市内農家や企業の情報を集約発信し、市内消費の拡大、市内外の取引拡大を推進します。) ・中小企業サポート事業(コーディネーターが企業訪問等を行い、市内中小企業が抱える課題の解決に向けたサポートを行います。) <p>(2)商工団体と連携しながら、商業の活性化=にぎわいづくりのため、「キラリ!駅de"ほっと市"」や「商店街等によるイベント」、「中心市街地活性化イベント(「AGEOまちフェス」等)」を促進します。(継続事業)</p> <p>(3)安全で快適に買い物ができる地域ニーズに見合った商業環境の整備(商店街への補助事業等)を促進します。(継続事業)</p>	<p>★進ちよく状況</p>	<p>B 概ね順調</p>
---	--	----------------	---------------

5. 市民満足度アンケート(平成25年度実施)

期待度		満足度		かい離値	
指数	順位	指数	順位	指数	順位
2.09	39	0.91	45	1.18	45

※かい離値は、期待度-満足度を表します。

★進ちよく状況

- A 順調(すべての指標が改善または目標値達成)
- B 概ね順調(改善または目標値達成した指標が半数以上)
- C やや遅れ(改善または目標値達成した指標が半数未満)

平成27年度 第5次上尾市総合計画 施策マネジメントシート

1. 基本情報

商工課・道路課

施策番号(大-中-小)	513
まちづくりの基本方向(大項目)	たくましい都市活気づくり
政策(中項目)	地域産業の活性化
施策(小項目)	工業
基本方針	経済の牽引力として大きな役割を果たす工業を振興するため、市内企業の経営改善への支援を進めると同時に、次世代のリーダー、起業家の育成などを図ります。さらに新たな企業誘致に向けた取り組みや産業振興拠点の形成の検討、異業種の企業間や産学官の連携による新たな価値創造も支援します。

2. 施策の状況(平成27年3月31日現在の状況を記入)

施策の現況と課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 本市の工業は、輸送用機械器具製造業や金属加工業を中心として発展してきました。平成24年の製造業事業所数(従業者4人以上)は241事業所で県内16位、従業員数は11,142人で県内12位、製造品出荷額等は3,870億円で県内10位となっていますが、従業員30人未満の中小零細企業が全体の約80%を占めている状況です。 ● 市内産業で大きな比重を占める中小企業は、二次・三次下請け加工型の事業所が多く、経済変動や技術革新、グローバル化の影響を受けやすく、経営の安定化を図ることが重要です。また中小企業の後継者不足が問題となっており、それを解消するための活動や企業の後継者同士が連携を図れる体制づくりが急務となっています。 ● 現在整備中の上尾道路沿道では、新たな企業進出が期待できることから、誘致活動や立地環境整備のため、関係各課と調整しながら進めていく必要があります。 ● 経済変動の激しい中、強い企業を育成し地域経済の活性化を図るために、商工会議所や金融機関、産業支援機関、各種団体などと協力して、企業間や産業間の連携を進めるとともに、地域社会との結びつきを強化するための取り組みが必要です。 ● 学識経験者や市内事業者、金融機関、産業支援機関、行政(国・県・市)、市民団体の代表者などで構成される「上尾市産業振興会議」では、「上尾市産業振興ビジョン」の実現のため、時代の流れに沿った産業振興の方向性について検討するとともに、具体的な取り組みについて提言を行っています。この提言に基づき、毎年度、取り組みを進めています。
法制度の変更など	

3. 目標指標の達成状況 ★冊子掲載指標

No.	課名	指標名	指標の説明(計算式)	対象数	実績						目標値	達成率	主な取組内容やコメントなど
					年度	H22	H23	H24	H25	H26			
1★	商工課	年間製造品出荷額	(単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	67%	出典:工業統計調査 平成23年は休止。最新結果(平成25年12月実施)は、まだ公開されていない。
					単位	億円	3,907	—	3,870	—	3,729		
2	道路課	領家工業団地から上尾道路までのアクセス道路整備率	事業費ベースの進捗率(累計)	延長170m	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	91%	平成27年度 事業完了
					単位	%	0	0.3	1.5	66	90.9		
3					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
4					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
5					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
6					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
7					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
8					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
9					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
10					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								

4. 今後の方針(平成27年度実施予定を踏まえた28年度の方向性)

今後の取組の方向性 (文末に*のあるものは、市長マニフェスト該当項目)	(商工課) (1)「上尾市産業振興ビジョン」の実現に向け、以下の取り組みを行います。* ・産業振興推進事業(「(仮)産業振興会議」を設置し、市内産業振興の方針について検討・提言を行います。) ・農商工親ポータルサイト構築事業(市内農家や企業の情報を集約発信し、市内消費の拡大、市内外の取引拡大を推進します。) ・中小企業サポート事業(コーディネーターが企業訪問等を行い、市内中小企業が抱える課題の解決に向けたサポートを行います。) (2)商工団体と連携しながら、市内工業事業者に対し、企業の展示会(工業フェア等)や商談会等の出展料補助制度の充実を図り、出展企業数の増加を目指します。(継続事業) (道路課) ・上尾道路開通に合わせて、(仮称)領家アクセス道路及び周辺道路の整備を平成26年度に完了します。	★進ちよく状況	B 概ね順調
法制度の変更など			

5. 市民満足度アンケート(平成25年度実施)

期待度		満足度		かい離値	
指数	順位	指数	順位	指数	順位
2.06	41	0.93	44	1.13	41

※かい離値は、期待度ー満足度を表します。

※参考

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
この施策に係る当初予算の事業費(千円)	6,871	234,129	131,412	10,956
この施策に係る当初予算の人件費(千円)	13,123	38,206	16,040	26,896
合計(千円)	19,994	272,335	147,452	37,852

★進ちよく状況

- A 順調(すべての指標が改善または目標値達成)
- B 概ね順調(改善または目標値達成した指標が半数以上)
- C やや遅れ(改善または目標値達成した指標が半数未満)

平成27年度 第5次上尾市総合計画 施策マネジメントシート

1. 基本情報 農政課・商工課

施策番号(大-中-小)	514
まちづくりの基本方向(大項目)	たくましい都市活カづくり
政策(中項目)	地域産業の活性化
施策(小項目)	観光
基本方針	本市の魅力アピールして観光による活性化を導くため、全市民的な観光振興体制を確立し、市民参加の観光まちづくりを進めます。また、観光情報の提供や広域的連携、新たな観光資源の発掘や農工商連携によるあげおブランドの開発と地場産品のPR、観光イベントの充実などを積極的に進めます。

2. 施策の状況(平成27年3月31日現在の状況を記入)

<p>施策の現況と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本市では、昭和57年の上尾市観光協会の設置以来、自然や歴史・文化などを基本とした地域観光の発展を目指してきました。これからも既存の観光資源の魅力向上、新たな観光資源の発掘や開発を行い、交流人口の増加、地域の活性化を図ることが必要です。 ● 受け入れ体制の強化を図るため、“ふるさと上尾”の良さを来訪者に伝える観光ボランティアガイドの組織化と育成に取り組んでいく必要があります。 ● 群馬県片品村観光協会と「宿泊施設等の利用に関する協定」を締結するほか、東日本震災復興支援のため、福島県本宮市や岩手県陸前高田市と協力したイベントを行うなど、観光における広域連携を推進しています。また、近隣市町(桶川市・北本市・鴻巣市・伊奈町)と連携した観光キャンペーンやイベントを行っています。今後さらなる連携強化を図り、広域観光ルートづくりや誘客への取り組みを検討する必要があります。 ● 上尾ブランドや本市のイメージアップにつながる特産品の開発促進や、既存の特産品を活かした製品化への支援・PRを図る必要があります。 ● 観光ルートやイベント、推奨土産品などを掲載した「あげおの観光」(上尾市観光協会作成)や観光協会ホームページの充実を図るとともに、農工商観ポータルサイト「あげポタ」の活用と内容の充実を図るなど、様々な媒体を通じて、市内・外への情報発信やPRを積極的に進めていく必要があります。 ● あげお花火大会、上尾シティマラソンなど県内でも有数のイベントが定着しています。また、上尾丸山公園を拠点としたさくらまつりや花しょうぶ祭り、荒川サイクリング道路や史跡、文化財をつなぐ観光ルートを設定した「あげお駅からハイキング」の開催、こいのぼり掲揚事業など、緑豊かな自然や地域資源を活かしたイベントを充実させていく必要があります。 ● 学識経験者や市内事業者、金融機関、産業支援機関、行政(国・県・市)、市民団体の代表者などで構成される「上尾市産業振興会議」では、「上尾市産業振興ビジョン」の実現のため、時代の流れに沿った産業振興の方向性について検討するとともに、具体的な取り組みについて提言を行っています。この提言に基づき、毎年度、取り組みを進めています。 ● あげおフィルムコミッションの活動を進めることにより、新たな観光スポットの発掘や市のPRにつながるため、ロケ地誘致に向けた取り組みと協力体制の構築に向けた調整が必要です。 	<p>法制度の変更など</p>
--	------------------------

3. 目標指標の達成状況 ★冊子掲載指標

No.	課名	指標名	指標の説明(計算式)	対象数	実績						目標値	達成率	主な取組内容やコメントなど
					年度	H22	H23	H24	H25	H26			
1★	商工課	観光ボランティア登録人数	(累計)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	113%	任意団体「アッピーガイドの会」
					単位	人	18	28	27	30	34		
2	農政課	市民農園(体験型)の設置	農業体験農園の設置数(累計)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	33%	平成25年度策定上尾市産業振興ビジョンのスタートアップ事業に位置付けられ、平成26年度から新規農園開設者支援を行う。
					単位	箇所	1	1	1	1	1		
3	商工課	ロケーション登録数	(累計)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	97%	ロケーションとは、あげおフィルムコミッションで登録している誘致可能な撮影場所のこと。
					単位	件	60	75	76	93	92		
4	農政課	ブランド梨「黄金の雫」のPR活動	(単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	67%	JAと協力し試食販売を実施する他、広報などでPRする。
					単位	回	1	1	1	2	2		
5					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
6					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
7					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
8					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
9					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								
10					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
					単位								

4. 今後の方針(平成27年度実施予定を踏まえた28年度の方向性)

<p>今後の取組の方向性</p> <p>(文末に*のあるものは、市長マニフェスト該当項目)</p>	<p>(農政課) ・近年、余暇の一環として家庭菜園への需要が増加しています。行政やJAが運営する区画貸し農園がありますが、開設時に多額の補助金を導入して開設した後も、利用料金をはるかに上回る借地料や管理運営費用などのランニングコストが毎年必要であり、耕作放棄区画の管理、利用者間のマナー違反やトラブルなど課題が山積しています。これに対し、農業者が農業経営の一環として開設する体験農園は、農業者に安定した収入をもたらし、利用者は手ぶらで農園を利用し、農業者から栽培指導を受けられます。さらに園主主催の収穫祭なども開催され、利用者間や農業者と非農業者の交流機会として期待されます。 ・産業振興ビジョンのスタートアップ事業として、平成26年度か開設時の補助制度を整備し、行政による利用者募集の支援などを行い、現状では市内に1か所しかない体験農園の開設数を増やしていきます。 ・埼玉県産日本梨「彩玉」を基準に基づいて選果した「黄金の雫」は、上尾・伊奈での生産者・行政・JAが協力して立ち上げた地域ブランドです。地域で立ち上げたブランドを地域での認知度を高めるために、試食PRを実施する他、さまざまな広報活動を実施していきます。 (商工課) ・群馬県片品村や福島県本宮市などとの広域連携を強化していくとともに、近隣市町村との広域観光誘客に向けた連携強化や防災協定を締結している自治体との連携を検討していきます。(継続) ・あげおフィルムコミッションについては、依頼者の要望に応じていくため新たなロケ地の開拓やホームページ等のPRを進め、市内の活性化等につながる映画等の誘致を目指します。(継続) ・観光資源や上尾ブランドの開拓等をすすめていく。(継続)</p>	<p>★進ちよく状況</p>	<p>C やや遅れ</p>
--	---	----------------	---------------

5. 市民満足度アンケート(平成25年度実施)

期待度		満足度		かい離値	
指数	順位	指数	順位	指数	順位
1.51	48	0.49	48	1.02	25

※かい離値は、期待度ー満足度を表します。

※参考	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
この施策に係る当初予算の事業費(千円)	39,787	43,662	50,739	51,104
この施策に係る当初予算の人件費(千円)	36,983	36,183	36,481	26,897
合計(千円)	76,770	79,845	87,220	78,001

★進ちよく状況
A 順調(すべての指標が改善または目標値達成)
B 概ね順調(改善または目標値達成した指標が半数以上)
C やや遅れ(改善または目標値達成した指標が半数未満)

平成27年度 第5次上尾市総合計画 施策マネジメントシート

1. 基本情報 ●子ども支援課・商工課

施策番号(大-中-小)	521
まちづくりの基本方向(大項目)	たくましい都市活カづくり
政策(中項目)	労働環境の充実
施策(小項目)	勤労者・就労支援
基本方針	<p>厳しい経済環境が続くなかで、勤労者の就労や生活の安定を図るため、勤労者福祉向上の施策を進めると同時に、就労の支援や職業能力開発の支援を充実させていきます。また、相談や情報提供による雇用対策の充実、ワーク・ライフ・バランスの実現への啓発などを進めます。</p>

2. 施策の状況(平成27年3月31日現在の状況を記入)

<p>● 本市の事業所の規模は、従業員20人未満が全体の約90%を占め、そこで働く勤労者の福利厚生対策などは十分とはいえず、格差のある状況であり、勤労者福祉の一層の推進が必要です。</p> <p>● 少子高齢化の進行に伴い、労働力人口の減少が懸念されます。また、市民の安心で安定した生活のため、高齢者、若年、女性、障害者など、誰もが働きやすい環境づくりと就業に向けた支援の拡大が必要です。</p> <p>● 非正規労働者数の増加や短時間勤務など多様な働き方が増える一方、離職した場合の就業に向けた支援が求められています。就業に向けた知識や能力の向上を図るため、各種情報提供やセミナーの開催といった支援が必要です。</p> <p>● 仕事を持つ多くの人が、仕事を中心とした生活を送ることにより、家族と過ごす時間を自由に取ることができないという状況があります。仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を推進する環境を整備するため、積極的な普及・啓発活動が必要です。</p> <p>● 年長フリーターも依然として多く、年齢が高くなるにつれ正社員としての雇用機会が少なくなるため、新規学卒者のほか、年長フリーターや離職者の早期の安定した雇用への支援が必要です。</p> <p>● 「上尾・桶川・伊奈雇用対策協議会」によるインターンシップ事業や就職面接会などを開催し、学生(主に高校生)の就業・就職支援を行っています。特にインターンシップ事業は、年々参加者が増加していることから、事業の拡大とこれに対応する体制づくりが必要となっています。</p> <p>● 雇用創出をつなげるため、既存産業の振興施策を推進するとともに、市内での創業や起業に向けた支援体制や枠組みづくりを検討する必要があります。</p>	<p>● 本市の事業所の規模は、従業員20人未満が全体の約90%を占め、そこで働く勤労者の福利厚生対策などは十分とはいえず、格差のある状況であり、勤労者福祉の一層の推進が必要です。</p> <p>● 少子高齢化の進行に伴い、労働力人口の減少が懸念されます。また、市民の安心で安定した生活のため、高齢者、若年、女性、障害者など、誰もが働きやすい環境づくりと就業に向けた支援の拡大が必要です。</p> <p>● 非正規労働者数の増加や短時間勤務など多様な働き方が増える一方、離職した場合の就業に向けた支援が求められています。就業に向けた知識や能力の向上を図るため、各種情報提供やセミナーの開催といった支援が必要です。</p> <p>● 仕事を持つ多くの人が、仕事を中心とした生活を送ることにより、家族と過ごす時間を自由に取ることができないという状況があります。仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を推進する環境を整備するため、積極的な普及・啓発活動が必要です。</p> <p>● 年長フリーターも依然として多く、年齢が高くなるにつれ正社員としての雇用機会が少なくなるため、新規学卒者のほか、年長フリーターや離職者の早期の安定した雇用への支援が必要です。</p> <p>● 「上尾・桶川・伊奈雇用対策協議会」によるインターンシップ事業や就職面接会などを開催し、学生(主に高校生)の就業・就職支援を行っています。特にインターンシップ事業は、年々参加者が増加していることから、事業の拡大とこれに対応する体制づくりが必要となっています。</p> <p>● 雇用創出をつなげるため、既存産業の振興施策を推進するとともに、市内での創業や起業に向けた支援体制や枠組みづくりを検討する必要があります。</p>
法制度の変更など	

3. 目標指標の達成状況 ★冊子掲載指標

No.	課名	指標名	指標の説明(計算式)	対象数	実績							目標値	達成率	主な取組内容やコメントなど
					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
1★	商工課	インターンシップ参加人数	(単年)	2市1町14校を対象に募集	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	283%	平成23年度に当初目標値の70人を達成したため、80人に変更する。	
					単位	人	45	83	99	129	226			80
2	商工課	女性キャリアセンター出前セミナー参加人数	(単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	37%	平成23年度は3回実施。平成24年度は2回実施。	
					単位	人	52	29	13	22	22			60
3					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
					単位									
4					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
					単位									
5					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
					単位									
6					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
					単位									
7					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
					単位									
8					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
					単位									
9					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
					単位									
10					年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
					単位									

4. 今後の方針(平成27年度実施予定を踏まえた28年度の方向性)

<p>今後の取組の方向性</p> <p>(文末に*のあるものは、市長マニフェスト該当項目)</p>	<p>(子ども支援課)</p> <ul style="list-style-type: none"> 母子・父子自立支援員を配置し、就労支援体制を強化します。(商工課) ハローワークやインターンシップ事業を推進するとともに、勤労者・就労支援のための講座等を充実させていきます。 2市1町で構成する上尾・桶川・伊奈地域雇用対策協議会において就職面接会を実施し、若年者の雇用促進を図ることで、インターンシップ事業を充実させます。 定年を迎えた方が長年培ってきた知識や技術を活かせる場を提供します。 勤労者・就労支援のための講座等を充実させていきます。 創業支援に向けた支援体制づくりについて、関係各機関と調整・検討します。 	<p>★進ちよく状況</p>	<p>B 概ね順調</p>
---	---	----------------	---------------

5. 市民満足度アンケート(平成25年度実施)

期待度		満足度		かい離値	
指数	順位	指数	順位	指数	順位
2.16	28	1.08	33	1.08	34

※かい離値は、期待度ー満足度を表します。

※参考

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
この施策に係る当初予算の事業費(千円)	254,912	249,485	277,784	256,321
この施策に係る当初予算の人件費(千円)	21,623	18,287	22,718	1,682
合計(千円)	276,535	267,772	300,502	258,003

★進ちよく状況

- A 順調(すべての指標が改善または目標値達成)
- B 概ね順調(改善または目標値達成した指標が半数以上)
- C やや遅れ(改善または目標値達成した指標が半数未満)